

《「地域コミュニティ研修（実践）」のご報告》

2024年10月16日（水）に「地域コミュニティ研修（実践）」が行われました。この研修は、目黒区が若手職員を対象に区政運営における地域コミュニティの役割や重要性について理解を深めるための研修として令和元年度から行っているものです。

内容は主に4点、

- 1・座学として目黒区のコミュニティ施策について・中央地区、鷹番住区の現状についてなどが中央地区サービス事務所から研修生のみなさまに説明が行われました。
- 2・鷹番住区内地域の見学（フィールドワーク）として実際に地域の中を歩いて主な施設を見学しながら現状を認識して頂きました。
前回まではサービス事務所の方と研修生とでフィールドワークを行っていましたが、今回初めてフィールドワークにも住区住民と一緒に参加しました。
鷹番住区センターを出てから碑文谷グラウンド、碑文谷公園、鷹番学童保育クラブ、鷹番小学校をそれぞれの立場から説明をしながら回り、東西商店街を抜けて住区センターに戻ってきました。
歩きながら研修生と地域住民がいろいろな話をしながら地域を回れた事は今回双方にとってとても良い経験であったと感じました。



↑ 掲示板の説明

掲示板（公営舎）や消火器の説明がありました。

ノ 碑文谷公園の説明

行われている地域行事や公民連携の説明がありました。

→ 鷹番小学校の説明

鷹番小学校の歴史や建替えについて説明がありました。



- 3・鷹番住区センターで地域住民から日頃の活動内容の説明や地域ボランティアに臨む考え方、地域の歴史などについて懇談が行われました。

研修生は入庁してから2～3年目の方で、仕事上地域に関りを持たれている方は会話の行き来が見られましたが、見学した施設も初めて訪れる方が殆どでしたのでなかなか懇談という所まではいかなかったように感じました。



- 4・最後に研修の感想などのまとめが行われました。



コロナ禍以前の研修では、この後実際に地域行事の手伝いに入って頂き、地域ボランティアを肌で感じ取って頂くプログラムも入っていました。今回の内容には入っていませんでしたが、そういった取り組みもしていけたら良いと感じました。

目黒区は決して大きな区ではありませんが、それぞれの地域ごとにいろいろな特色があるのだと感じて頂けたらなによりです。

これから様々な部署で働かれることとなりますが、仕事の為の仕事ではなく、目黒区民の為の仕事に取り組んでいただきますようによろしく願いいたします。

また町のどこかでお逢いできますように…みなさまお疲れさまでした。